

流通とSC・私の視点

2007年11月26日

視点(849) 近未来のSCエイジ人口の変化と今後の課題(その1)!!

「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所編集・平成18年12月推計)によると、日本の年齢別人口予測は次の通りになります。

	年齢の幅		2005年	2010年	2015年	2020年	増減ポイント	増減率
	シルバー層	75歳以上	15歳	9.2%	11.0%	13.1%	15.4%	+6.2
シニア層	60~74歳	15歳	17.7%	19.9%	20.6%	19.9%	+2.2	+12.4%
ミドルアダルト層	45~59歳	15歳	20.8%	19.1%	19.2%	21.1%	+0.3	+1.4%
ヤングアダルト層	30~44歳	15歳	20.9%	21.1%	20.2%	18.2%	-2.7	-12.9%
ジュニア・ヤング層	15~29歳	15歳	17.6%	15.9%	15.1%	14.7%	-2.9	-16.5%
ベビー・キッズ層	0~14歳	15歳	13.8%	13.0%	11.8%	10.7%	-3.1	-22.5%
合計		90歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

<参考資料> (東京都)

	年齢の幅		2005年	2010年	2015年	2020年	増減ポイント	増減率
	シルバー層	75歳以上	15歳	7.9%	10.1%	12.1%	14.6%	+6.7
シニア層	60~74歳	15歳	17.2%	19.0%	19.2%	18.6%	+1.4	+8.1%
ミドルアダルト層	45~59歳	15歳	19.7%	19.1%	21.2%	24.7%	+5.0	+25.4%
ヤングアダルト層	30~44歳	15歳	24.4%	25.1%	24.2%	20.3%	-4.1	-16.8%
ジュニア・ヤング層	15~29歳	15歳	19.3%	15.4%	12.6%	12.3%	-7.0	-36.3%
ベビー・キッズ層	0~14歳	15歳	11.5%	11.3%	10.7%	9.5%	-2.0	-17.4%
合計		90歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

この年齢別人口予測を、「SCエイジ」を基軸に分析すると次の通りになります。

	年齢の幅		2005年	2010年	2015年	2020年	増減ポイント	増減率
	SCエイジ層	30~44歳 0~14歳	30歳	34.7%	34.1%	32.0%	28.9%	-5.8
SCエイジ予備層	15~29歳	15歳	17.6%	15.9%	15.1%	14.7%	-2.9	-16.5%
SCエイジ卒業層	45歳以上	45歳	47.7%	50.0%	52.9%	56.4%	+8.7	+18.2%
合計		90歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

<参考資料> (東京都)

	年齢の幅		2005年	2010年	2015年	2020年	増減ポイント	増減率
	SCエイジ層	30~44歳 0~14歳	30歳	35.9%	36.4%	34.9%	29.8%	-6.1
SCエイジ予備層	15~29歳	15歳	19.3%	15.4%	12.6%	12.3%	-7.0	-36.3%
SCエイジ卒業層	45歳以上	45歳	44.8%	48.2%	52.5%	57.9%	+13.1	+29.2%
合計		90歳	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

全国及び東京都(都市圏の代表)の将来の年齢別人口推計は以上の通りであり、「0~44歳までが減少」し、「45歳以上が増大」する結果となっています。それにより、SCエイジ層(30~44歳と0~14歳のファミリー及びパーソナルマーケット)は2020年には大幅に減少することになります。ただ、急激な減少は2015年以降です。

(私の視点 850 に続く)

(株)ダイナミックマーケティング社⁺³
代表 六 車 秀 之